



## 追手門学院大学×ガンバ大阪 エコボランティア活動拡大 ペットボトルリサイクル活動に学生が参画

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長:坂井東洋男)は、帝人フロンティア株式会社と株式会社ガンバ大阪が吹田スタジアムで取り組む、ペットボトルのリサイクル活動に参画します。

参画するのは経営学部水野浩児ゼミの学生約50名です。2017年Jリーグ開幕戦となるガンバ大阪対ヴァンフォーレ甲府戦【2月26日(日)】から参画し、学生たちがスタジアムから出る使用済みのペットボトルを回収し、キャップとボトルに分けて整理します。水野ゼミの学生たちは2009年より「エコボランティア活動」として、ガンバ大阪のホームスタジアムにおいてゴミ分別の啓発活動を行っており、この実績をベースに活動領域を広げます。また、追手門学院は2010年よりガンバ大阪とパートナーシップ協定を結んでいます。

学生たちが回収・分別したペットボトルは、帝人フロンティアで再生ポリエステル繊維にリサイクルされ、グッズに生まれ変わることになっています。回収を見込んでいたペットボトルは年間約8トン(ペットボトル約30万本分)です。

報道関係の皆様には、学生たちの取り組みの様子を取材いただければ幸いです。

1. 日 時 2月26日(日) 17:00-19:00
2. 場 所 市立吹田スタジアム  
スタジアム周辺及び、スタジアム内コンコース  
大阪府吹田市千里万博公園 3-3
3. 内 容 経営学部水野浩児ゼミの学生約50名が参画。  
試合前から来場者の退出までは、ゴミ分別の啓発活動および回収。  
来場者退出後に、スタジアム内でペットボトルの整理を行う。



【昨年の取り組み①】



【昨年の取り組み②】

この資料の配付先： 大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ、報道機関運動部等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 坂倉・塩田